

2110

八當部  
一  
八月二十二日  
情報部

第一四

八當課  
八月二十二日  
事務課

老部  
八月二十二日  
防備課

岡村部隊參謀部

中原會戰俘虜調查報告七部

一部  
八月二十二日  
官房政史

昭和十六年七月

陸軍省  
陸軍部  
文書課  
一三五ノ一

陸軍省  
昭和十六年八月十六日  
16.8.16  
文書課

陸軍省  
16.8.16  
510  
軍務課

陸軍省  
昭和十六年八月十六日  
16.8.16  
編纂課

陸軍省  
16.8.18  
愛兵務課  
06

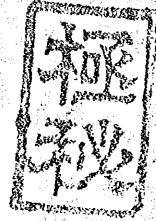
陸軍省  
16.8.16  
1025

陸軍省  
16.8.18  
1180  
文備課

陸軍省  
16.8.21  
111

陸軍

0113



中原會戰俘虜中主要幹部取調内容(其二)

岡村部隊參謀部第二課

次

序

第二禮 調査ハ時日ノ關係上倅虜抗戰ニ關スル信念等ニ關シテハ警戒的  
 陳述アリ且新政權乃至和平運動ニ關シテハ阿諛的態度ナキニシモ非サ  
 ルモ一面心境ニ大ナル變化ヲ齎シツツアルハ容易ニ看取シ得ル所ナリ

氏名	官職
譚友佛	第三軍參謀長
劉蔭軒	河北民軍第一支隊長
張振亞	冀察戰區游擊師(孫良誠)高級參謀
李澤州	第一五軍第六五師一九五團長
孫夢齡	第五集團軍參謀部第三課長
車子涵	第三軍司令部副官長
曹裴然	山西第七專員公署督察員
任順德	第三軍各部參謀處第三課長
曹兆銘	第三軍各部參謀處第二課長
閻紹堂	河北民軍第三團長
劉毅民	第二三軍新編第四〇師第二八團長
段烈亭	河北民軍總指揮部參謀
劉演競	第四五師第一三四團長
李傑三	軍事委員會參議

雷光霄	中佐	第七師副官長
梁肇宇	同	第三軍通信營長
周更生	同	豫備第八師參謀
劉次文	同	第五集團軍參謀
楊紹鏞	同	第三軍輜重大隊長
曹仲蕭	同	第五集團軍第三軍々法官
李彥昌	少佐	第五集團軍總司令部特務大隊長
郭光祐	同	第五集團軍交通工作隊長
曾武成	同	第五集團軍電報局々員
姬環之	大尉	第二七軍參謀
徐經守	同	第五集團軍總司令部參謀
盧榮光	同	第二七軍第二課參謀
傅盛熙	同	第三軍經濟游擊隊中隊長
謝良佐	同	陸軍砲兵第九團第二營第六連長
丁谷鳴	同	第三軍衛生隊長

第三軍參謀長

少將 譚友佛

江蘇省江寧縣生

五六才

宣統元年襲用講武堂ニ入校同三年畢業

團長、旅長、師長ヲ歴任シ三十年二月第三軍參謀長ニ任セラ  
ル

問 參謀長ニ就任シタノハ何年カ

答 本年二月デス

問 唐軍長ト如何ナル關係ニ在ルカ

答 襲用講武堂ノ同窓生デス

問 唐軍長ハドウナツタカ

答 五月七日十二時頃縣山デ自殺シタト聞イタガ自分ハ一縉ニ非ナカ

ツタカラワカラナイ

問 日本軍ノ攻撃ヲ受ケタ時如何ナル命令ヲ出シタカ

- 答 自分ハ後方ニ居ツテ必要ニ應シ司令部員ヲ後方ニ撤退サセル様ニ命セラレテキタノデワカラナイ自分ハ命令ヲ下シタコトハアリマ  
ゼン
- 問 第三軍ノ幹部教育ハ如何
- 答 五月十五日ヨリ軍幹部訓練班ノ教育ヲ開始スル豫定デシタ其ノ期  
間四ヶ月受訓學員一五〇名ノ豫定デシタ
- 問 陸大在學中如何ナル教育ヲ受ケタカ
- 答 師以上ノ各種戰術デス
- 問 國內總力戰ノ体制ニ就テ話セ
- 答 軍事秘密テ公開サレス軍ニ單ノ戰鬪序列ヲ飼イタタケデス
- 問 總反攻ニ對スル中央ノ計畫ニ就テ知ツテモルカ
- 答 現在其ノ準備即チ部隊ノ補充ト訓練ヲヤツテキマス準備完了セハ  
總反攻ヲ必ス實施シマスカ準備ハ未タ完了シテキマセン
- 問 其ノ時機ハ何時カ

- 答 マダ來マセン從テ總反攻ノ時期モ豫想サレマセンガ必ス其ノ時期ハ來マス
- 問 總反攻ニヨリ戰勝ノ希望ハアルカ
- 答 アリマス唯國際關係ノ如何ニヨルコトカ大キイト思ヒマス
- 問 抗戰ノ目的ハ何カ
- 答 領土ノ完整保全デス
- 問 日本ニ領土的野心ノナイコトハ屢々聲明サレ新條約ニヨツテモ之カ明瞭デアル領土保全ノ爲ノ抗戰ハ無意味ト思ハナイカ
- 答 重慶側ニ居ル限リ是等ノ眞意ハ判リマセン
- 問 假ニ重慶側ニ在ツテ眞意ガワカラナイニシテモ現實ノ實力カラ見テ抗戰ニヨリ日本ヲ擊退シ得ルト思フノハドウカ
- 答 之ハ一課題デアル
- 問 今次作戰ニ日本軍ノ兵力ヲ如何ニ判斷シテキルカ



答 五箇師團デス

問 晋南ノ支那軍兵力ハ

答 約三十箇師

問 三十箇師ノ兵力ヲ以テ中條山ノ峻嶮ヲ利用シ二年間カカツテ作ツ

タ堅固ナ陣地ニ據ツテ防禦シナカラ僅カ五箇師團ノ皇軍ニヨリ潰

滅サレタ事實ハ其ノ課題ニ明答ヲ與ヘテキルデハナイカ

答 今次ノ作戰ハ兵ノ訓練不足ト補給カ思フ様ニ行カナカツタ爲デ之

ヲ以テ完全ニ敗北シタト見ルコトハ出來ナイ未タ希望ヲ捨テルノ

ハ早イ

問 最近ノ對日戦法トハ如何ナル方法ヲ採ツテキルカ

答 日本軍ハ中央突破（錐形突破）ノ戦法ヲ採用シアリ支那軍トシテ

之ニ對シ兩翼席捲ノ方法ニヨリ包回ス

問 兩翼席捲ノ方法ニ自信ガアルカ

答 アリマス

問

晉南ニ於ケル日軍作戰ニ就テノ批判如何

答

鑽孔戰術ハ惜カニ優秀デアツタ。我軍ノ高級幹部ノ指揮ノ不良モ

當然責ヲ負ナナケレバナラナイ

然シ中條山脈ハ地勢上大キナ危険ガアツタ

中國軍ガ黄河ノ南岸ニ於テ戰線ヲ收縮シテ防禦スベキデアツタ

問

中日新條約汪近衛共同聲明等ヲ知ツテモルカ

答

知リマセン

問

蔣介石ヲ如何思フカ

答

蔣先生ハ個人トシテハ非常ニ偉大ナ存在デアルガ我々ハ蔣先生左

右ノ一般人デアルカラ妄リニ云々スルコトハ出来マセン

問

現在蔣ノ側近ニ於テ軍政兩方面ニ實權ヲ持ツテモルハ誰カ

答

何應欽ト陳誠デス

問

現在抗戰ニ最モ困難ヲ感スルハ如何ナル點カ

答

重武器ト「ガソリン」ノ不足デス

問 政治方面ニ於テハ?

答 ハツキリシテヒマセン

問 經濟方面ハ如何

答 法弊下落ハアルガ大ナル困難ヲ感セス

問 汪精衛ノ新政權ヲドウ思フカ

答 現在南京方面ノ狀況ガ不明ノ爲話スコトカ出來マセン但シ二十七

年ノ汪先生ノ艶電ニハ贊意ヲ表シテヒマシタ

問 共產黨ニ就テハ?

答 根本ニ於テ不贊成デス國共ハ相互ニ利用シアツテキルニ過キナイ

シ現在既ニ分裂シカカツテヒマス

河北民軍第一支隊長

少將 劉 蔭 軒

山西陸軍斌業中學畢業連長少中佐參謀處長ヲ歴任ス

問 河北民軍ニ入隊セルハ何年カ

答 二十七年入隊シマシタ

張蔭梧カ保定行營民訓處ヲ開設シ募集シタ學生ハ中學卒業以上ノモノ約四五百人アリ之ヲ五幹部々除ニ組織シ武装民衆ヲ召集シマシタ

現在民軍司令ハ喬明禮テ隊員ノ最も多カツタ時ハ五万人モアリマシタカ今ハ八千位ニ減少シ二箇支隊一持務團ニ編成シテキマス

問 最初ハ何處デ編成シタカ

答 山西省陵川デス

自分等ハ大部分小資産階級デ河北ハ八路軍ノ蟻踞地トナリ彼等ノ土地政策ニ反抗スル爲ニ民衆ハ蹶起シテ民軍ニ參加シ屢々八路軍

ト交戦シマシタ

我々ノ部隊ハ一般ニ知識階級多ク抗戦意識ハ強固デス

問 抗戦ニ對スル信念如何

答 抗戦ハ中國ノ國策テアツテ一般ニ信念極メテ深ク抗戦ハ勝利シ建

國ハ成功スルモノト考ヘテキマス之カ原因ハ日本ノ侵略ニヨルモノデ之ニ抗セサルチ得マセン

問 抗戦ニヨル建國ハ可能カ

答 我々ハ抗戦ト建國トハ同シト見テキル、抗戦ヲ續ケルコト即チ建

國デアリ抗戦カ成功スレハ建國モ完成スルトイフノデアリマス

問 抗戦建國カ汝ノ確乎タル信念カ

答 ソウデス、自分達ハ皆一家ヲ顧ミス抗戦ニ當ツテキルノデス、一人テモ國ヲ救フコトカ出來ナイトスレハドウシテ家郷ヲ保衛シ得マセウカ

問

日本ナドウ思フカ

答

日本ノ中國ニ對スル壓迫ハ二十一ヶ條約後ノ濟南上海東北四省等ノ事變ノ如ク歴史的ノモノデス之等ノ事實ハ中國人ニ敵愾心ヲ起

サシメ之カ爲抗日思想ハ堅確デス

問

汪精衛ハ和平ニヨリ建國カ可能デアルトナシ敢然和平運動ニ乘リ  
タシタノデアルカ之ニ就テハドウ思フカ

答

汪主席ハ重慶ト意見カ合ハス又汪ハ剿共ヲ、重慶政府ハ抗戰容共ヲ主張セル爲脫離シタノデス抗戰建國和平建國共ニ中國ヲ救フ途

デアルカ日本ノ侵略ニ對シテハ我等ハ自衛上武器ヲ執テ戰ハネハ

ナリマセン、若シ果シテ和平ニヨル建國カ可能ダトスレハ自分ハ

モトヨリ滿腔ノ憤意ヲ表シマス

問

抗戰ノ前途如何

答

光明ハアリトハ言ハマセン  
（註）稍昂奮シアリテ抗戰ノ問題ニツキテハ取調ヲ中止ス

別ノ取調ニテハ日本ハ必スシモ侵略ニアラス抗戰建國ハ不能ト答辯シアリ

問 中央軍トノ關係如何

答 往々協同困難ナルコトガアリマス又待遇不平等ナル爲不満ニ感ス

ルコトアリ

問 支隊ノ裝備如何

答 小銃手榴彈若干ノ輕機デアル小銃ハ平均一〇〇發輕機平均八〇〇

發ノ彈藥ヲ有ス、其他重火器ナシ

問 喬明禮ノ經歷ハ

答 會テ旅長。副旅長。副軍長ヲヤツタコトガアリマス

問 八〇軍ト民軍トノ關係ハ

答 我等ハ八〇軍ノ豫備隊デシタ

問 何時晋南ニ入ツタカ

答 昨年六月共産軍ト交戦退却シ中牟開封一帶ニ居マシタガ昨年十二

日張茅附近ニ到リ二月渡河北上シマシタ  
衛立焯ノ命令ニヨツタモノデス

問 何カ述ベタイコトナキヤ

答 河北民軍ハ茲二三年共產軍ト相争ツテキマス八路軍ニ對スル政治  
的軍事的鬭争ハ激烈デ反共思想ニ於テハ汪主席ノ主張ト同一デス

問 國共關係如何

答 主義不同・共產黨ハ終始國民黨ヲ倒シ自己ノ政權ヲ樹立スルコト  
ヲ考ヘテキル



冀察戰區游擊師（孫良誠）高級參謀  
少將 張 振 鉅

陝西講武堂畢業團長旅長師長ヲ歴任ス

問 高級參謀トハ如何ナル仕事ヲスルカ

答 私ハ常ニ洛陽ニ住ンデキテ戰線ニ參加セタコトハアリマセン指  
揮部ハ山東省德縣方面ニアリマス

問 抗戰ニ就テノ所感ヲ述ヘヨ

答 焦土抗戰ハ到底人民ノ希望ヲ達セシメルモノデナク却テ人民ヲ  
苦惱ニ陥レマス莫米ノ援助ヲ受ケテモ國ヲ滅ボシテハ將來彼ラ  
ニヨツテ分割サレルダケデス

事變以來私ハ曾テ二回ニ亘リ部隊ヲ組織シマシタカ結局、一個  
ノ地位モ與ヘラレナカッタ。河南省カラ徵兵シタ數ハ三百萬ニ  
達シテキルカ軍官ニナツタモノハナク病氣ヲスレハ生理ニサレ

ル、現在軍政部第十八補訓所ニハ二十數個ノ新兵團カ專ラ壯丁ノ徵集ニ當ツテモルカ其幹部ハ皆南方人デアラスカル差別的ナヤリ方ニ對シテ山西、河南系ノ軍隊ハ中央ニ對シテ頗ル不滿デアリ從テ抗戰ニ關シテハ大ナル信念ヲ持ツテキマセン

然シナカラ日本ハ決シテ中國ヲ消滅スルコトハ出來ナイト共ニ中國ニ亦日本ヲ驅逐スル力ヲ有シナイ、結局東洋ハ英米ノ好餌トナリマス

問 汪先生ノ和平運動ニ就テハ

答 汪先生ノ和平提唱ニハ頗ル贊意ヲ表シマス

私ハ南京ニ行キ新政府ニ合作セント欲シ運城特務機關岡村武夫氏ノ證明書ヲ載キ運城ニ行ク途中馬村ニ於テ捕ヘラレタヒノデス

問 共産黨ニ對シテハ？

答 到處ニ於テ貧民ヲ收容シ階級闘争ヲ煽動シ以テ中國ノ秩序ヲ攪

亂シ中國ノ赤化ヲ企圖ス、現在國共合作ハ極メテ困難デス

洛陽一帯ニ於テハ剿共ヲ實施中テ共産分子一教職員學生一約二

百餘名ヲ洛陽ノ河南國民黨部ニ拘留シテキマス

(註) 軍事關係ニ就テハ殆ント知ラス

第一五軍第六五師一九五團長

大佐 李澤州

三八才

河南省鞏縣生 家族ハ現在開封ニ在リ

中學校卒業後陝西講武堂ニ入り民國二十五年中央軍官學校高等教育班第五期卒業

大尉參謀・營長・團長ヲ歴任ス

問 家郷（開封ニ妻子アリ）ト通信ヲシテキルカ

答 作戰開始後通信ハアリマセン

問 俘虜トナツタ當時ノ狀況ヲ話セ

答 自分ハ俘虜トナワタノデハナイ當時無意味ナ抗戰ヲ續ケルコトヲ

然セス五月二十七日日本軍安江部隊ニ投降シマシタ

問 部下ハ投降ニ賛成シタカ

答 自分カ命令ヲ下シタノデ皆服從シマシタ

問 兵員統計幾何デアツタカ

答 當時九百餘名デシタ

問 二十七日迄ニ幾何ノ損害ヲ出シタカ

答 本團ハモト一七〇〇名アリマシタカ屢次ノ作戰テ損害ヲ受ケタカ

一年間ハカリ補充ヲ受ケテキマセン、今次ノ損害ハ三百餘名デス

問 貴官カ克ク部下ヲ纏メテ投降サレタコトニ就テ軍人トシテ敬意ヲ

表シマス

答 忍縮デス、軍人ノ天職ハ本邦精忠報國デアリ既ニ敗戦セル以上國

ニ殉スベキデスコレニソ軍人ノ魂デス然シ將來ノ國運ト和平運動

ノ爲ニ縦意シ慚愧ニ堪ヘナイカ假ニ生命ヲ全ウシテ將來ノ復興ヲ

願ツテキマス

問 家郷カラノ通信ニヨリ開封附近ノ日本軍占領地ノ狀況ヲ聞キマシ

タカ

答 夫ハ聞イテキマシタ家郷カラ自分ニ歸郷シテ一家團欒スルコトヲ

勸メテ來マシタカ自分ハ環境ニ制限サレテ只悵然ト千里遙望ヲ嘆

クノミデシタ

問 中條山ニキテ日本軍ヲ擊退シ得ルト考ヘテキタカ

答 抗戰數年來ノ經驗カラ戰勝ノ可能性ニ就イテハ必スシモ絶無デハ  
ナイカ今次敗戰ノ原因ハ高級指揮官ノ指揮ノ不良ト後方ヨリノ補  
給困難ニヨルモノデス

問 抗戰前途ニ對スル見透如何

答 民國二十七年以前ニ於テハ非常ニ樂觀シテキタカ其後ハ悲觀的ニ  
ナリマシタ

高級將校ハ皆勝利ヲ宣傳シテキマスカ事實ハ宣傳ト反スルコト多  
ク一般識者間ニモ悲觀論カ多クナリマシタ

問 抗戰中堅分子ハ前途ニ關シドナ風ニ考ヘテキルカ

答 必スシモ悲觀シテハキナイカ物資ノ缺乏補給難カ主トシテ後方機  
關ノ醉生夢死ニ起因シテキル爲ニ中堅同志ノ憤慨ヲ買ツテキマス  
問 後方機關バカリデナクモツト後方ノ重慶政府カ醉生夢死デハナイ

カ

答 ソノコトハ判リマセン

問 和平運動ニ關スル認識竝ニ感想ヲ話セ

答 將來ノ東亞ノ明朗化ノ爲ニ自分ハ和平運動ニ對シテハ早クカラ贊

成デシタ日支戦争ハ戦争ヲ以テ戦争ヲ解決シ得ナイ段階ニマデ來

テキマス必スヤ政治的方策ニヨツテ始メテ戦争ヲ解決シ得ルモノ

デス現在我同志ノ中ニハ汪先生ノ和平陣營ニ參加シテ中國復興ノ

爲ニ工作セント希望シテキルモノカ澤山アリマス汪先生ノ和平運

動ハ必スヤ順調ニ目的ニ到達スルモノト思ヒマス自分カ投降シタ

ノモ極メテ大キイ犠牲的精神ヲ抱イテキルカラデス

問 蔣介石ニ對シテノ感想如何

答 彼ノ抗戰精神ト人格ハ非常ニ偉大デス而シ其ノ側近者ハ必スシモ

ソウデハアリマセン

問 蔣個人ノ偉大モアラウガ寧口抗日民族意識カラ大衆カ彼ヲ偶像化

シテキルノデハナイカ

答 ソウモ言ヘマスガ然シ彼個人ニモ實ニ偉大ナ處ガアリマス

問 彼ノ抗戰政策ハ彼カ地位ヲ得ル爲デ一般民衆ハ彼ヲ英雄タラシメ

ンガ爲ニ苦シテキルト思ハヌカ

答 彼個人ニ對シ批判ヲ加ヘレハソウモ謂ヒ得ルカ然シ民族ノ立場カ

ラ批判スレハシカク簡單ナモノデアリマセン

問 抗戰ト國際關係ニ就テ話セ

答 將來ノ國際情勢ノ推移ハ抗戰ノ將來ニ重大ナ關聯ガアリマス獨一

ソ一戰ニ於テ獨ハ速戰即決ヲ企圖シテキルカラ最初ハ獨ニ有利ニ

進展スルデアラウカ將來ハ未知數デス輕卒ニ批判ハデキマセン

問 三月ノ日本軍ノ攻撃ト今次ノ攻撃ト比較シテドウ思フカ

答 アノ時(三月)ハ損害極メテ多カツタカ今次ニ比較スレハ尙輕度

ノモノデシタ



問	今次作戦開始當時ノ裝備如何
答	步兵銃 五四〇挺 彈藥各人 一五〇發
	輕機 三三挺 一銃 二〇〇〇發
	重機 一八挺 一 四〇〇〇發
	迫撃砲 三門 一門 一〇〇〇發
問	彈藥ハ充分デシタカ補充ハ困難デシタ
答	補充請求後何日位テ到着スルカ
問	約二週間位デス

第五集團軍參謀部第三課長

大佐 孫 夢 齡

雲南省立第二中學校畢業雲南講武堂學校卒業後連長營長少佐  
參謀、團長副旅長等ヲ歷任ス

陸大參謀班卒業

營ヲ汪主席ノ護衛隊長タリシコトアリ

職務ハ

第三課長デス三月迄ハ第二課長デシタ

抗戰ニ對スル信念如何

中國ハ地大物博ナルハ持久シ得ヘキヲ以テ中國ニ勝算アリ

日本ノ侵略ニ就テハ必スシモソウハ考ヘテキナイガ日本ノ眞意ニ

ハ未タ疑問多シ假ヘハ反共ヲ唱ヘナカラ「ソ」聯ト協定ヲ結ンダ

ヤウナコトデアル

抗戦ト建國トハ併行ス、抗戦ニヨリ團結ヲ強固ニシ生産力ヲ擴充

シ自力更生ヲ圖ルノデス

問 生産力増加トイフガ戰區、民衆ハ苦シンデキナイカ

答 居ナイ

問 總反攻ニ就テハドウ考ヘルカ

答 國際關係、好轉及日本ノ疲勞ニ乘シ行フ予定ナルモ期日等ハ知ラ

ス

問 蔣介石ニ對スル感想如何

答 蔣ハ世界四大怪傑、一人デアアル誰モ皆崇拜シテキル

問 近衛聲明ヲ知レルヤ

答 知ツテキマス然シ私ハ俘虜トナツテカラ種々、苦痛ヲ受ケルノミ

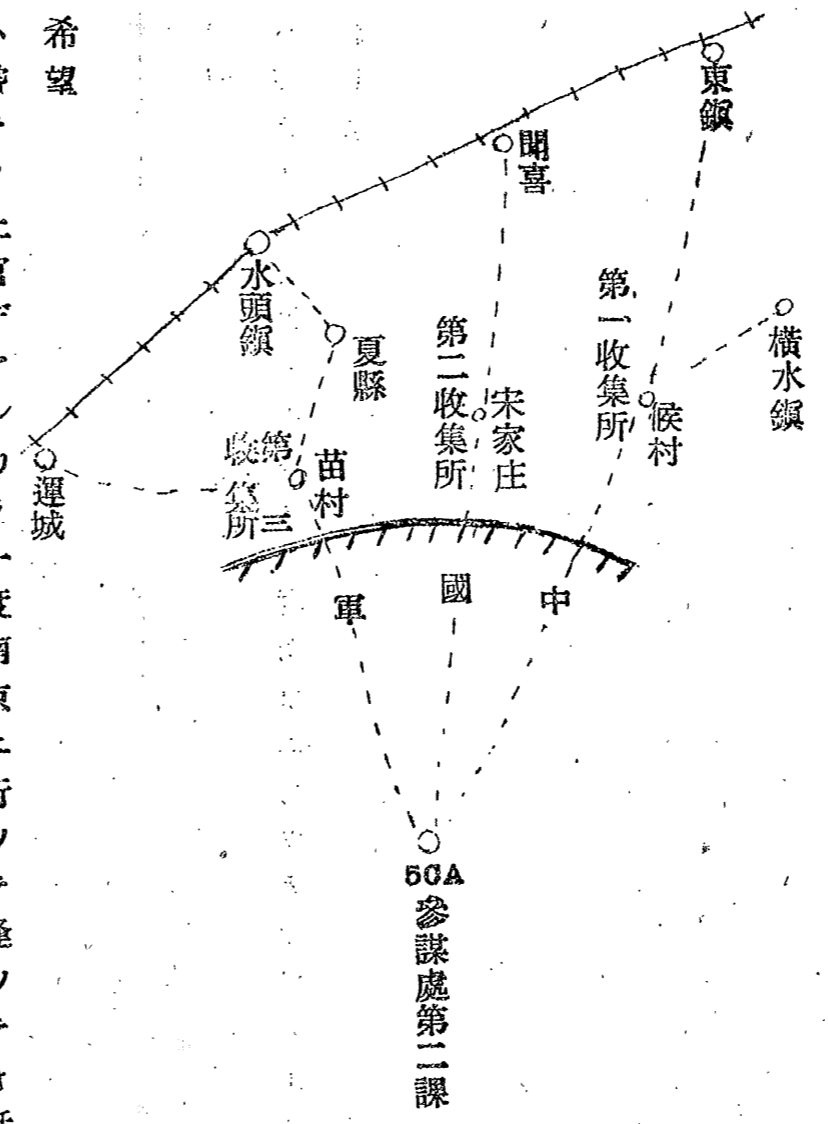
テ何等友好的表示ヲ見タコトカナイ日本ハ獨逸力自發的ニ壤國ヨ  
リ撤兵ヒルヲ做フベキデアルト思フ

0138-2

問 集團軍、情報業務ヲ述ヘヨ

情報課長  
中佐參謀 教育（情報員）  
少佐參謀 情報収集整理  
大尉參謀 地圖ニ關スル事項

問 將來ノ希望  
答 汪主席ハ嘗テノ上官デアルカラ一度南京ニ行ツテ逢ツテオ話しナ  
伺ヒタイト思ヒマスヨ



## 第三軍司令部副官長

大佐 車 子 酒

雲南省立第一中學畢業雲南講武堂步兵科卒業少校副官、兵站長、駐京辦事處長等ヲ歴任シ第三軍副官長トナル

身体強健

問 抗戰前途ニ對スル見透如何

答 抗戰長ビクニツレ消耗多ク補充困難ニシテ日ニ敗亡ニ趨ク然レト

モ國際情勢我ニ有利ナルトキハ乘スヘキ機會ナシトヒス

問 抗戰前途ニ光明アリヤ

答 抗戰前途ハ暗澹タルモ、ナリ新中央政府、和平政策、前途ハ明朗

化ス現在ノ狀形ヨリ案スルニ戰前ノ狀態ニ恢復セントスルモ甚々

困難ナリ又持久戰ニヨリ抗戰ヲ繼續スルモ將來ノ變化測リ難シ

問 日本ハ敗退スルト思フカ

- 答 信ヒス
- 問 到底抗戰建國ハ可能カ
- 答 將來ハ如何ニナルヤ固ヨリ豫測シ難シ現在ノ重慶狀況ヨリスレハ  
尚支持シ得ナラン
- 問 抗戰建國ニ就テ最高指導者ノ信念如何
- 答 現在ノ「スロイガン」ハ一面抗戰一面建國ヲ唱スルニ人力物資共  
ニ減少ヲ告ケ持久消耗戰ニヨリ機會ノ到來ヲ待ツモノナリ
- 問 蔣介石ニ對スル感想如何
- 答 蔣委員長個人ノ人格ハ極メテ高尚ニシテ氣力強ク決心ハ容易ニ動  
搖ヒス其ノ成功ト失敗トヲ問ハス正ニ一世ノ英雄ナリ
- 問 蔣委員長ノ命アラハ生命ヲ投ケ出ス覺悟アリヤ
- 答 軍人ハ服從ヲ以テ天職トナス違背スル能ハス

問 蔣ハ汝等ヲ必敗滅亡ニ導キタル首魁ナラスヤ

答 共産黨ノ責任ナリ

問 蔣委員長ハ自ラ抗戰ノ英雄タラントシテ汝等ヲ犠牲トヒルニアラ

スヤ

答 然リ、國家民族ノ生存ノ爲、犠牲亦價フ所アランカ

問 事變ノ當初ト現在ニ於テ蔣委員長ノ統制ニ如何ニ變化アリヤ

答 大ナル差ナキモ事變ノ初期ニ於テハ一般ニ抗戰ノ成功ヲ幻想シ蔣

委員長ニ對スル信仰濃厚ナリシ爲、統制力大ナリシモ現在ニ於テ

ハ命令徹底シ難キ所アリ

問 蔣委員長ノ統制ヲ阻害スルモ、ハ何カ

答 最大ノ障碍ハ共産黨ノ命令不服從ト人民ノ多數和平ヲ希望シアル

點ニ在リ

問 中國ニ蔣委員長ナカリヒハ中國ハトウナルト思フカ

答 蔣委員長ヲ除キテハ全ク領導ノ人物ナシ必スヤ混沌タル状態ヲ現

出スヘシ汪主席ノ中央政府ヲ支持スル外ナシ

蔣委員長下野トハ後任ハ何應鑑ヲ以テ最適トス

何應鑑ハ汪ニ對シ頗ル意見ヲ同クスルモノナルモ現在如何トモシ

難ク已ムナク重慶ニ在リテ抗戦ス

問 日支兩國ハ何カ故ニ戦ヒツ。アリト思フカ

答 九一八ノ如キ日本ノ侵略、英米ノ煽動、共產黨ノ脅迫ニヨルモ中

國ニ達見ノ士ナク輕々シク戦端ヲ開キタルニモヨル

問 日本ハ中國ヲ侵略スルト思フカ

答 必スシモ信セス現在觀察中

問 日本ハ近衛聲明及新條約ニモアル如ク支那ト提携シ共存共榮ヲ圖

ラントスルニアラスヤ之カ侵略カ

答 相互ニ誠意ヲ示シ各々對手ノ獨立自由ヲ尊重スルナラハ侵略トハ

言ヘナイ



問 英國ハ如何、何故ニ排英レサルヤ  
 答 事變ヲ桃發レルハ英國ナルニ事變后支那ヲ援助シ近視眼者ハ英ニ

心酔シ英ノ援助ニ對シ排英ヲナシ得ス

英國ハ弱小國家ヲ消滅レントスルモノナリ

問 抗日ハ眞ニ中國ヲ救フノ道カ

答 自分ノ抗日觀念ハ滿洲事變以後ノコトナリ抗日以外ニ提携合作ノ

途アリ但シ兩國ノ誠意如何ニヨル

問 補給裝備ニ關シ

答 Aノ兵工廠ハ資鷄ニ在リ補給請求後三四ヶ月ニシテ受領シ得サル

コトアリ

銃ハ7D、2D、34D共ニ充實シ彈藥ハ各人一二〇發

問 戰意ニ就テ

答 今次中原作戰ニ於テハ一般ニ最後ノ五分間ニ堅持スル能ハス

高級指揮部、壊滅ト糧道、遮断ハ敗戦、因ニシテ然モ背水ノ陣ナル爲退却スルヲ得ス

一般ニ逃亡兵多キハ戰意低下ノ現象ナリ

問 英米「ソ」等ノ中國ニ對スル援助如何

答 遠水近火ヲ救ヒ難ク均シク恃ムニ足ラス

外援ヲ恃ミトシ抗戰ヲ續ケルコトハ鴉ヲ飲ミテ渴ヲ醫スルニ等シ

問 所謂「總反攻」ノ可能性如何

答 太平洋ニ於テ英米日「ソ」開戦ノ曉ハ始メテ可能ナランカ

時 日支合作ノ感想如何

答 主權ト獨立自由トヲ尊重スルニ於テハ固ヨリ可ナルモ過去ノ狀況

ニハ不同意ナリ

近衛聲明ノ三原則中共同反共經濟提携ニ就テハ疑ナキモ、善隣友好ニ就テハ未タ其真相ヲ明ニスルヲ得ス

日支新條約ニ就テハ之ヲ明ニシ得ス重慶ニ於テハ逆宣傳的發表ヲナレルニ過キス

問 汪政府ニ對スル感想

答 汪先生ハ國民黨ノ首領タルコト多年決シテ澳好トナルニ甘スルコトナシ今後發展如何ハ汪政府自身ノ努力ト日本ノ誠意如何ニヨル

山西第七專員公署督察員

大佐 曹 裴 然

問 汝ノ出身地ハ

答 山西省朔縣デス

問 汝ハ蘇省長ヲ識ツテキマスカ

答 識ツテキマス。ソシテ親族關係ガアリマス

問 汝ノ家族或ハ親族中ニ現在山西省（新政權方面）ニ勤メテキル人

ガアリマスカ

答 アリマス。自分ノ母ノ兄弟（例レカ不明）柳子厚ハ現在山西省公

署警衛隊長ノ職ニ就イテキマス

問 汝ノ親族ニ澤山新政權方面ニ勤メテキル人ガアルノニ、汝ハ何故

抗戰ヲ放棄シテ歸ツテ來ナカツタノカ

答 自分ハ民國廿六年ニ高平縣公署ノ秘書ヲ勤メ、其後變トナルヤ

高平縣ハ元々抗戰地區デアルタメ凡ユル職員ハ一齋ニ抗日ニ當ル  
 へキデアリ自分モ亦當然其ノ例ニ漏レズ、ソコデ抗戰工作へ、參  
 加ヲ棄テヨウトハ考ヘス。又周圍ノ環境ニ依リ事實ガ之ヲ許サズ  
 更ニ又自分ハ閻錫山ト舊部下ノ關係ニ在ルタメ共ニ抗戰ニ當ラサ  
 ルヲ得ナカツタリデス

問

第七專員公署ノ管轄縣ハ合計幾ラカ

答

計十二縣デス

曲沃、絳縣、垣曲、平陸、夏縣、苗城、永濟、解縣、虞鄉、翼城  
 聞喜、安邑

問

第七專員公署ノ所在地ハ

答

平陸、夏縣、縣境、澗陽鎮デス

問

專員公署ノ任務ハ

答

行政、教育、建設、財政、警務、等ニ就キ各縣ヲ指導スル責ヲ負

ツテキマス

問 所轄十二縣ノ縣長ハ皆己ニ任命シマシタカ、又行政ノ進展狀況ハドウデスカ

答 縣長ハ皆省長カラ任命シマシタガ行政ノ進展率ハ大シテ強クハアリマレン

問 軍事ト政治間ノ關係ハドウカ

答 軍ト政ハ多クハ意見ガ一致レズ、軍事方面ハ己ニ大部分ガ獨立焔ノ勢力ガ占メテキルイミデス、兩者ガ權力ノ角逐ヲスルカメ意見ヲ交換スル時ハ多ク分裂シマス

問 山西ニ於ケル軍政ノ摩擦ニ對スル具體的舉例ハ又瀋錫山ト衛立焔ノ對立狀態ハドウカ

答 二十八年末カラ二十九年ノ初期ニ至ル、山西新舊兩軍ノ決裂後新軍ハ中共方面ヘ投ジ、舊軍ハ晋西南地區ヘ退キテ日ニ衰力ガ衰ヘ

之力爲衛立焯ハ漸次蘭錫山ニ對シ蔑視スル態度ヲ執リ、蘭錫山ノ政治權力ヲ侵奪シヨウト企圖シタ、例ヘハ縣長級ノ更送要求ノ如キ衛立焯系ヲ以テ之ニ替ヘントシ、又時ニハ交代レシメタ處エアル様ニ聞イタ、己ニ更送シタモ、ニ翼城縣長等アリ

問

第七專署管下ノ徵兵法ニ對スル實施及法ハドウカ

答

七區ニ於テハ現在尙徵兵ハシテキナイ。山西軍力之ヲ實施レントスレバ中央軍ガ亦必ズ之ニ隨ツテ徵兵スルノデ、コンナ關係ヲ未タ實施スルコトハ出來マレン

問

凡ユル物資ノ輸送ニ對シテハドンナニ處理シテキマシタカ

答

各地ノ公路ハ已ニ建設サレタモ、多ク、凡テノ物資ハ自動車ニテ輸送シマス

問

糧秣ノ需要ニ迫ラレタル時ハ如何ニシテ徵集シマスカ

答

官兵ハ毎日各人三十兩ノ小麥ヲ供給サレルガ之ヲ以テ所要數量ヲ計算スル標準トナス、部隊ヨリ縣長ニ連絡シ、縣長ヨリ各區、村ヘ區分シテ割當シ、之ヲ徵收ス

問 各地ノ部隊ガ直接民衆ヨリ徴收スルコトガアルカ  
 答 アリマス。戦時体制下ニ在リテハ徴收ヲ便ナラシメル目的デ、  
 常時各部隊ガ民衆ヨリ徴收スルモ、コレハ己ムヲ得ス斯クスル  
 ノデアル

問 第七專員公署ニ特務工作ガアルカ否ヤ

答 アリマシ

問 新政権側ハ第七區ノ十二縣ノ中幾名ノ縣長ガアルカ、又コレハ  
 新政権ガ任命シタモカ

答 アリマス、平陸縣ハ新政権側ノ維持會ガアリ、垣曲縣ハ新政権  
 側ヨリ派遣サレタ縣長デス

其他マダアリマスガ不詳デス

問 第七區ハ經濟封鎖政策ヲ實行シテモルカ否ヤ

答 已ニ實施シマシタ。併シ糧秣方面ハ、該地區ノ產出量ハ豊ナラ  
 ズ、凡テノ糧食ハ皆他地域ノ輸入ヲ仰イデモル、デマダ封鎖ヲ



行ツテキマレン

問 新政權側ノ聯銀券ハ七區一帶ニハ流通シマスカ

答 流通シマレン、該地デ行使シテキルノハ全部法幣ト山西票ト閩

錫山ノ發行レルモノデス

問 若シ新政權側ト交易シヨウトスル時ニハドウ措置スルカ

答 必要ニ應ジ商人側ヨリ之ヲ交換シマス。兌換率ハ法幣二圓五十

錢ニ付聯銀券一圓ノ割デス

此ノ間利ニタケタ奸商カ跋扈シテキマス

問 一般民衆ハ抗戰ノ現勢ニ對シ、ドンナ感じヲ表現シテキマスカ

答 糧秣ノ徵收、資材ノ割當、壯丁ノ強制徵發。。。等ノ如ク各部

隊ノ壓迫ヲ受ケテキルノデ之ニ對處スル力ナク、余ク苦惱言語

ニ絶シテル状態デス

問

汝ガ第七專員公署ニ居タ時新政權下ノ民衆を亦同様ノ苦惱ヲ抱イタト思ヒマシタカ

答

ソウデハアリマシ。縣城附近（二十支里以内）ハ何等苦シミナキモ、二十支里以外ノ地ハ抗戰陣營ノ交錯地帯ナルタメ、一般ノ百姓ハ二重ノ壓迫ヲ受クルタメキツト非常ニ苦ンデキルト思ヒマス。

問

抗戰下ノ百姓ハ戰爭ノ塗炭ノ苦シミヲ受ケテキルコトヲ知ツテモテ、汝ハドウシテ早ク抗戰陣營ヨリ離脱シテ和平運動ニ參加シナカツタノデスカ

答

周圍ノ環境ニ制限サレ離脱スル機會ガナカツタノデス。陝西ノ秋林鎮一帶ノ民衆ハ新政權側ノ明朗ナ様子ヲ皆知ツテキマスカ

答

宣傳及言論統制ノ關係ヲ知ツテキル人ハ極メテ少イノデス

問 閩錫山ハ民衆ノ苦惱ヲ知ツテキマスカ

答 深く知ツテキマス

問 已ニ之ヲ知ツテキテ何故新政權ニ參加シナイノデスカ

答 彼自身ハ參加スル希望ヲ持ツテキマスガ彼ノ部下ハ派別ガトテ

モ多ク、一部ハ閩先生ヲ權護シ、一部ハ妥協投降ニ反對スル意

見ヲ持ツテ居リ抗戦ヲ徹底的ニ堅持シテキルカラデス

問 中共方面ハ閩錫山ニ對シ現在尙暗斗ノ事例ガアリマスカ

答 アリマシ、二十九年二月中央ガ彼等双方ヲ調停シテカラハ、

何等大ナル紛争ハアリマシ

調停ノ方法ハ汾陽以北ハ中共地區、以南ハ閩錫山地區トシタ

デス

問 現在犧盟會ノ勢力ハドウデスカ

答 犧盟會ハ現在デハ已ニ中共ノ直屬機關トナリマシタ

問 公道團ハ現存シテキマスカ

答 キマレシ

問 機盟會ト公道團ガ合流シテ改ニ機公會ト稱シタノデスガ、閩錫

山方面ニ現在此ノ組織ガアリマスカ

答 アリマレシ。民國二十九年ノ初メ新舊軍力決裂シテカラ、機公

會ハ共產黨ノ懷ニ投ジマシタ

問 閩錫山側ニ現在何レカノ思想團體組織ガアリマスカ

答 精神建設委員會ト民族革命同志會ガアリマスガ、現在已ニ合流

シテ一体トナリマシタ。即チ精建會ヲ外廓トシ民志會ヲ核心ト

シテ國民黨ノ支部トナツテキマス

問 閩錫山ノ二十年來一貫シテモソノ主義ハ現在ドウデスカ

答 大体マダイ、方デ幾、併シ形勢ハ已ニ重創ノ痕トナリマシタ

問 國民黨ハ其ノモソノ主義ヲ突破侵入シマシタカ

答 閩錫山ハ僑入シマシタガ、實際ハ國民黨ハ國民黨デアリ、閩錫山

ハ 閩錫山デアル

問 山西省ノ一般民衆ハ現在閩錫山ニ對シドシトナ印象ヲ持ツテキマ  
スカ

答 現在依然トシテ極メテ良好デス

問 閩錫山ハ現在機會主義ヲ採ツテハキマレンカ

答 ソレニアリマス。併シ大部分ハ幹部ノ問題デ、閩先生ハ亦彼ノ  
舌裏ヲ持ツテキマス

問 貴方ハ將來政治路線ニ對スル希望ハドウデスカ

答 自分ハ山西出身デアルタメ、出來得レバヤハリ山西ニ歸ツテ和  
平運動工作ニ従事シタイト思ヒマス

問 貴方ハ共産党ニ對シドシトナ感じヲ持ツテキマスカ

答 憤恨デス。

第三軍軍部參謀處

第三課長 任 順 德

(貴州興義縣出身)

三七才

貴州第一中學畢業軍官學校言葉教育班第一期畢業廬山軍官團洛陽幹訓團受訓

問 抗戰ニ對スル信念ハ

答 抗戰ノ當初ハ蔣委員長ノ通告及宣傳ヲ受ケ勝利ヲ獲得シ得ルモノト考ヘテキマシタガ、今日迄抗戰數年ヲ經、凡テノモノハ極メテ大ナル損失ト痛苦ヲ感ジ抗戰意識ハ無形ノ中ニ漸次消沈シ、其ノ上汪先生ノ和平主張ハ抗戰ニ確ニ莫大ナル影響ヲ與ヘマシタノデ自分ハ抗戰ヨリ和平力良イト感ジテキマス

問 抗戰ニ勝利ノ可能性アルト思フカ

答 物資ハ缺乏シ、士兵ハ困難ヲ感ジ、人民ハ厭戰シテオルタメ勝利

ハ覺東ナイト思ヒマス

問 蔣委員長ニ對スル感想ハ

答 抗戰前ハ大イニ崇拜シテキマシタカ抗戰後ハ輕率賊端ヲ開クヲ擅

ニスル禍首ナルタメ大シテ敬服シテハキマレン

問 幹部ノ團結ハドウカ

答 抗戰初期ニ比ヘテ悪クナリマシタ

問 近衛聲面ニ對スル認識ハ

答 余リ知リマレン

問 將來ニ對スル希望ハ

答 新政府ノ下テ働キタイト思ヒマス

問 後方勤務ノ狀況ヲ述ヘテ見ヨ

答 〆補給線

繩池兵站分監部ヨリ第五支部へ送り、南海ノ支部ヨリ兩路ノ兵

站線二分ル一ハ馬村兵站、一ハ武家坪兵站ノ基地ニ送ル

## 2 通信

下管回實部ヲ基點トシ有線電話ヲ架設ス

幹線ハ三ヶ處アリ、一ハ馬村總部、一ハ王家河七區、一ハ張家  
後十二師ニ各々至ル

無線ハ西安、洛陽及各師へ到ル

## 3 衛生

軍ニ軍野戰醫院ヲ、車庄ノ師ニ師醫院ヲ、野猪嶺、溫峪並ニ南  
溝ニ夫々兵站病院ヲ設ク



第三軍第二課長

大佐 曹 兆 銘

(雲南省鳳儀縣出身)

三九才

雲南省立第二中學東陸大學畢業中央軍官學校第六期工兵  
高級班第一期畢業

問 抗戰ニ對スル信念ハ

答 以前ハ國家ノタメデアル以上抗戰シナケレハナラナカツタガ、今日迄五ケ年間ハ日支事變ハ一未解決ノ儘ニシテ双方共ニ有史以來稀有ノ苦難ヲ受ケオルタメ、一日モ早く和平サレルコトヲ希望シテキマス

抗戰意識ハ現在ハ以前ノ様デハアリマレン

問 抗戰勝利ノ可能性アルヤ

答 國際情勢ノ急變ニ依リ自分ハ恐ラク十分ナル可能性ハナイト思ヒ

マス

問 蔣委員長ニ對スル感想ハ

答 彼自身ノ人格ニ對シテハ滿腔ノ敬服ヲ拂ツテキマス。カ其ノ主張ハ  
全人民ノ意志ヲ代表スルモノデハアリマセン

問 抗戰階段ハ

答 戰務ヲ前期トシ、終熄へ結末ヲツケルコト一チ後期トシマス

問 幹部ノ團結力ハ抗戰ノ初期ニ比シテドウカ

答 日毎ニ離反シテキマス

問 汪政府ニ對スル觀察ハ

答 主張ニ對シテハ大イニ贊同シテキマス、和平ハ救國ノ道デス

問 近衛聲明ニ對シドシナ認識ヲ持ツテキルカ

答 三原則ハ早クヨリ期キマシタ。克ク歩々誠意ヲ以テ之ヲ實行スレ  
ハ東亞ノ光ト爲スコトガ出來マス